

## 南小たば風通信 2018

平成30年9月19日(水) 第19号

## 平成30年度 南小 公開研 2年生授業事後研の記録

たば風通信の今号では2年生、次号では5年生の授業についてそれぞれの会場で話し合われた内容をまとめました。お互いの事後研でどのような協議が行われたかを確認していただければと思いますので、ご一読下さい。



## 2年生 国語 くりかえしのあるお話を作ろう『きつねの おきゃくさま』

## ◎授業者から

## 齋藤先生

- ・「きつねのおきゃくさま」に対する児童の反応がよく、色々な意見が出ると予想し、授業に臨んだ。
- ・グループでの話し合いに慣れていたので、今日の話し合いもスムーズに進んだ。本時の展開の4の所では、あえてグループの意見を一つにまとめ、相手に伝えることができるようにした。
- ・難しい面もあったかもしれないが、教えていただければと思う。

## 押見先生

- ・グループで意見を出し合うだけでは、それでおしまいになるので、あえて一つにまとめるということを取り入れた。まとまらなかったらそれで良いと考えていた。最後にいろいろ考えることができたのでよかったのではないかな。
- ・交流のさせ方をどうするとよいのかご意見をいただきたい。



## ◎参観者から質問

## 【質問】(江差小学校の先生)

- ・指導者は、「きつねの性格」をどう捉えていたのか？ 児童からどのような意見が出たら良しとしたのか、最後まで見えなかったと感じた。子ども達の意見は「点」で捉えていて、「線」ではなかったように思うが。
- ・きつねの性格を読み取るために大事なところは72pの「ある日。」の所だと思うが、その場面をどう考えていたか。

## 【回答】

- ・「やさしい」けど「ずるい」など、2つの面をもっていると考えていて、そういった意見が出るといいのかなと考えていた。
- ・特に深くは考えていなかった。

## 【質問】(七重小学校の先生)

- ・授業の中に学校力向上に関わっていることはあるのか。

## 【回答】

- ・チームを意識して授業案を作ってきた。また、「たば風通信」などご覧いただければと思う。
- ・学校力向上については、全体会で詳しい説明があるので、そちらでお願いしたい。

## ◎グループ別協議の内容

### <Aグループ>

- 全体の流れがよかった。TTの連携がスムーズだった。「天使と悪魔」がキーワードだったように思うので、授業の真ん中あたりで扱おうと、話し合いに広がりが出たかもしれない。
- 「〇〇なきつね」と課題を出したが、「〇〇だけど□□なきつね」などのように提示すると、いろいろ考えることができたかもしれない。一つの意見にしばるのは難しかったのではないかな。

### <Bグループ>

- 児童が、「書き方」をよくわかっていて、しっかり書けていたことが良かった。
- 理由を言うときに、「なぜなら」をつけさせるなど取り組みやすい指導だった。
- 改善点としては、教材の主題をよく考えることで、きつねの捉え方が変わってくるのではないかな、また、繰り返しのお話を作る所にも影響していくと思う、という意見が出されていた。
- 一つの意見にまとめるのはどうだったのかな。
- “交流”ということでは、今回の授業では、児童対教師できつねの性格に迫っていてもよかったかもしれない。

### <Cグループ>

- 単元の計画が教室に示されていて、どこをやっているのかわかりやすくよかった。
- 一つの意見にまとめるのは、漏れる考えが出るのでそこはどうなのかなという意見が出た。
- きつねの性格をつながりの中で取り上げていけるようにするとよいのではないかな。
- グループ学習で、机の向きに気をつけるとよい。
- 最後に自分の意見をもう一度考えるところで、何もしない児童がいたため、良い意見があったら書き出すなど配慮があっても良かったのでは。
- 話し合いを盛り上げる手立て(例えば、墓標にたてる言葉は?など)を考えることによって、様々な意見が出るのではないかな。
- TTの連携がよかった。



### <Dグループ>

- 書くことに抵抗がなく、上手く表現していた。
- 5の場面では「もう書くのおしまい?」と、子ども達にとって、あっという間の時間だったようだ。
- グループの中で意見を決めるところは、意図はわかるが、思考の流れからすると善し悪しがあるところだと思う。
- T1とT2の役割は南小ではどのようにしているのか聞きたい。